

2024年3月期 決算説明会

2024年6月11日

高松機械工業株式会社(証券コード : 6155)

TAKAMAZ

目次

1

連結決算内容

2

前期の注目ポイント

3

今期見通し

4

企業体質の強化に向けて

(参考) 会社概要

当資料は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいております。経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

1

連結決算内容

■ 決算サマリー

全社受注高 **144億52**百万円（前年同期比10.1%減）
主力受注先である**自動車業界向けの需要回復遅れ**が影響

工作機械事業売上高 **126億18**百万円（前年同期比16.3%減）
安定生産に努めたものの、受注減少が影響

I T 関連製造装置事業売上高 **12億83**百万円（前年同期比1.5%減）
新規開拓に注力したが、**半導体需要の調整**が継続

自動車部品加工事業売上高 **2億82**百万円（前年同期比4.7%減）
取引先である自動車メーカーの**生産調整等**が継続

全社営業損失 **3億86**百万円（前年同期は5億16百万円の営業利益）
工作機械需要が回復しなかったことが影響

TP MACHINE PARTS CO., LTD. 及び**タカマツエマグ**の解散（清算手続き中）
不採算事業の撤退による**グループ収益の改善**

杭州友嘉高松機械有限公司に係る棚卸資産評価損計上及び
自動車部品加工事業の減損損失計上による**財務体質の改善**

■ 連結決算状況

(単位：百万円)

	2023/3		2024/3		対前期比	
	金額	対売上 (%)	金額	対売上 (%)	増減額	増減率 (%)
受注高	16,069	-	14,452	-	△1,617	△10.1
売上高	16,675	100.0	14,184	100.0	△2,490	△14.9
売上原価	12,531	75.2	10,998	77.5	△1,533	△12.2
売上総利益	4,143	24.9	3,186	22.5	△957	△23.1
販管費	3,626	21.8	3,573	25.2	△53	△1.5
営業利益	516	3.1	△ 386	△ 2.7	△903	-
経常利益	619	3.7	△ 608	△ 4.3	△1,228	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	489	2.9	△ 565	△ 4.0	△1,055	-

※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。
 工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

- ✓ 工作機械業界では、設備投資の先送り等から、業界受注総額が3年ぶりの減少
- ✓ 当社連結業績は、工作機械事業の業績悪化により、売上・利益ともに減少
- ✓ 杭州友嘉高松機械有限公司に係る棚卸資産評価損198百万円を計上及び自動車部品加工事業の減損損失69百万円を計上

■ 連結決算状況

営業利益増減分析

費用の増加 (収益の減少)
収益の増加 (費用の減少)

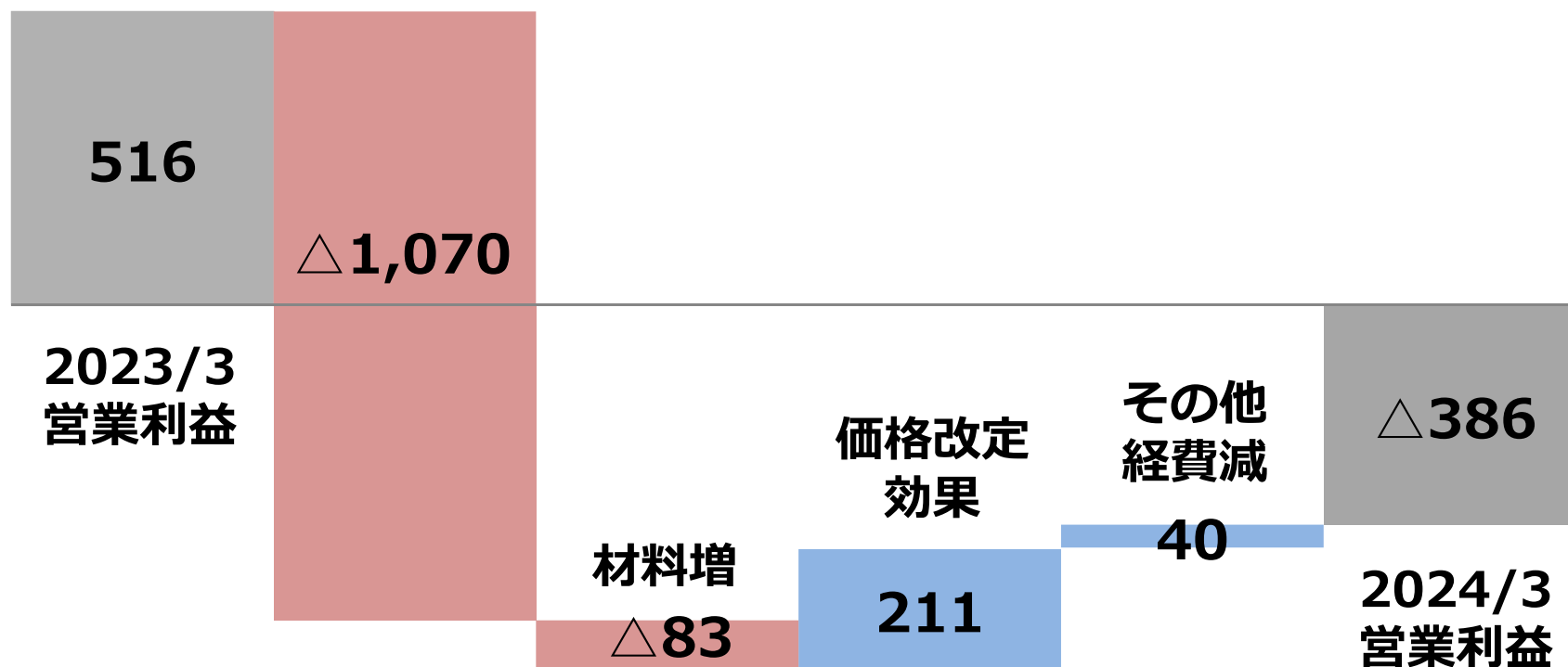
(単位：百万円)

マイナス要因 $\Delta 1,153$

プラス要因 $+251$



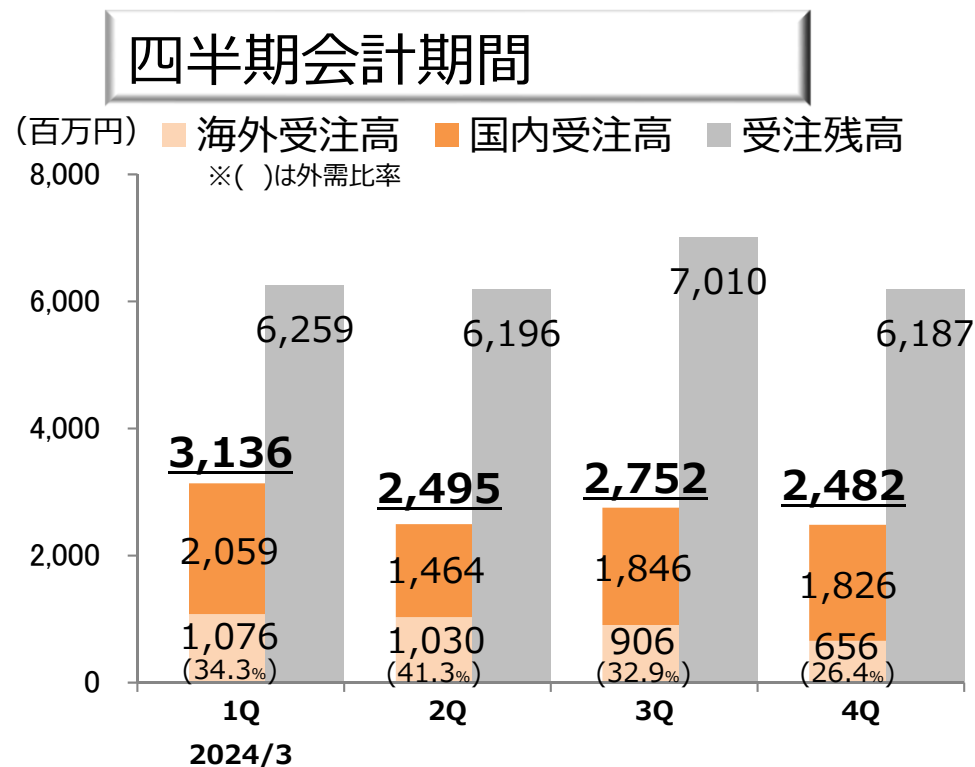
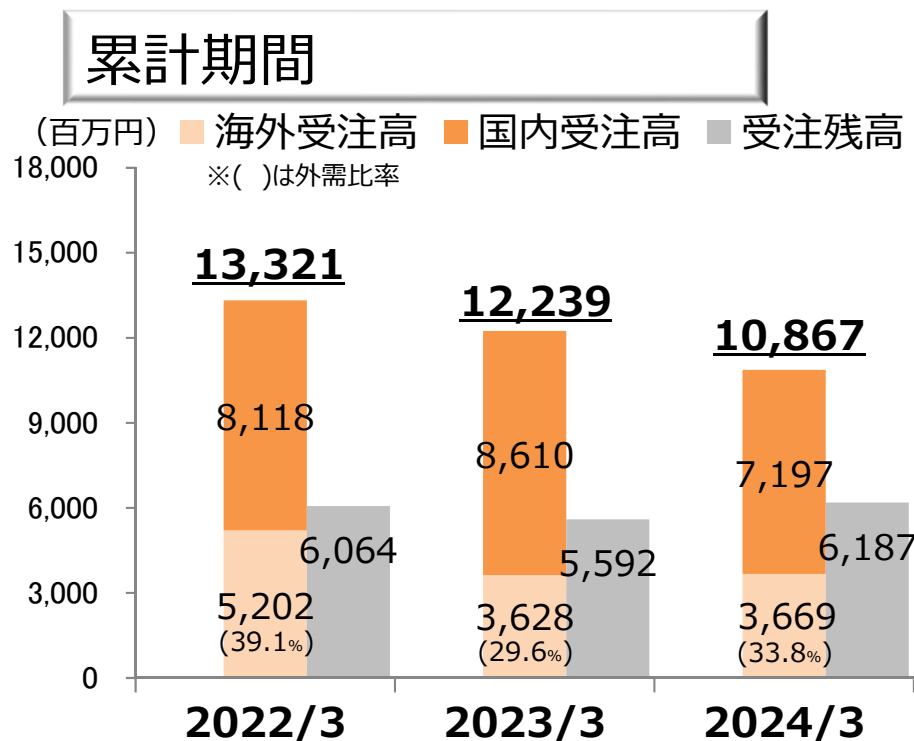
売上減



■ 工作機械事業の状況

受注高・受注残高の推移

(注) 受注高及び受注残高は、旋盤・改造機に限定しています。



決算のポイント

- ✓ 主要顧客である自動車業界向けにおいて工作機械需要の調整局面が継続したことで、受注減少
- ✓ 1Qは価格改定前の駆け込み需要が影響

取り組み実績

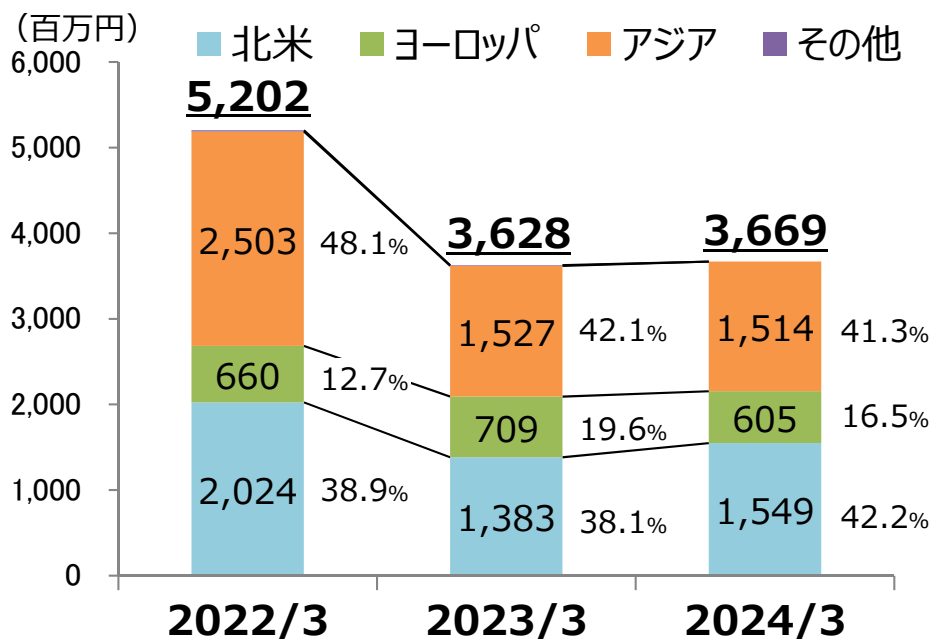
- ✓ 当社製品に対する認知度が低い自動車業界以外において、実機による製品の特長やメリットをPRする営業キャラバンの実施
- ✓ 国内外の展示会出展や海外子会社でのプライベートショー開催

■ 工作機械事業の状況

海外受注高の推移

(注) 受注高及び受注残高は、旋盤・改造機に限定しています。

地域別



主要な国別

(百万円)

	2022/3	2023/3	2024/3
アメリカ	1,848 (-)	1,183 (△36.0%)	1,491 (+26.0%)
タイ	480 (△17.0%)	398 (△17.1%)	703 (+76.8%)
中国	1,041 (+94.6%)	510 (△51.0%)	115 (△77.3%)
ドイツ	277 (+51.1%)	271 (△2.1%)	294 (+8.4%)
ベトナム	397 (+493.4%)	192 (△51.6%)	458 (+138.2%)

※ %表示は対前期増減率

決算のポイント

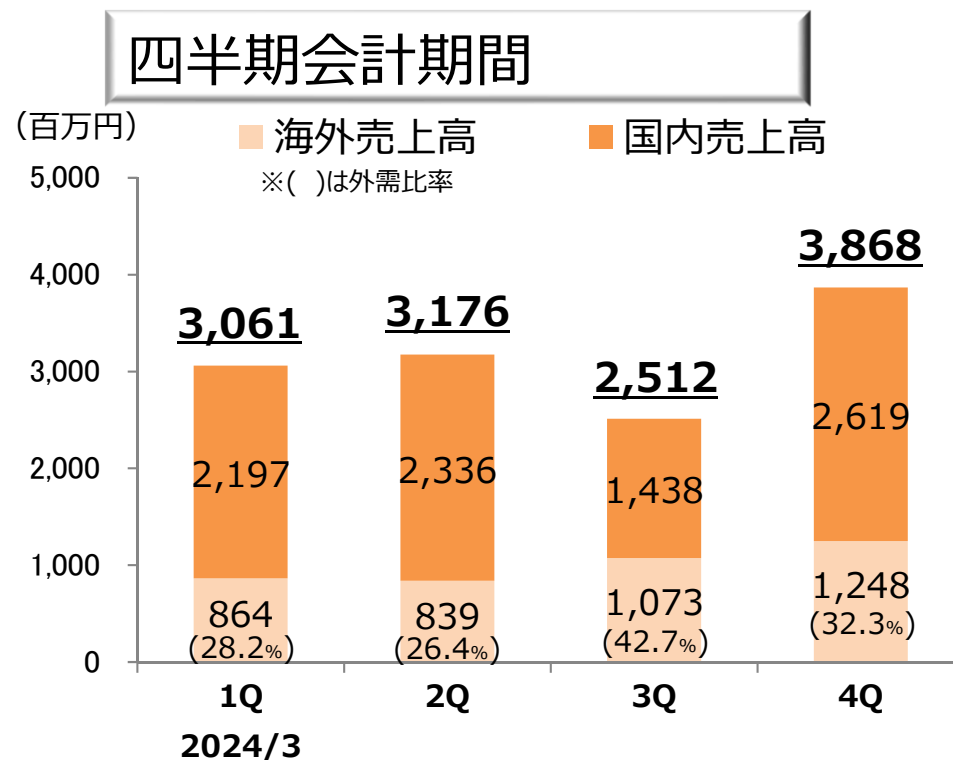
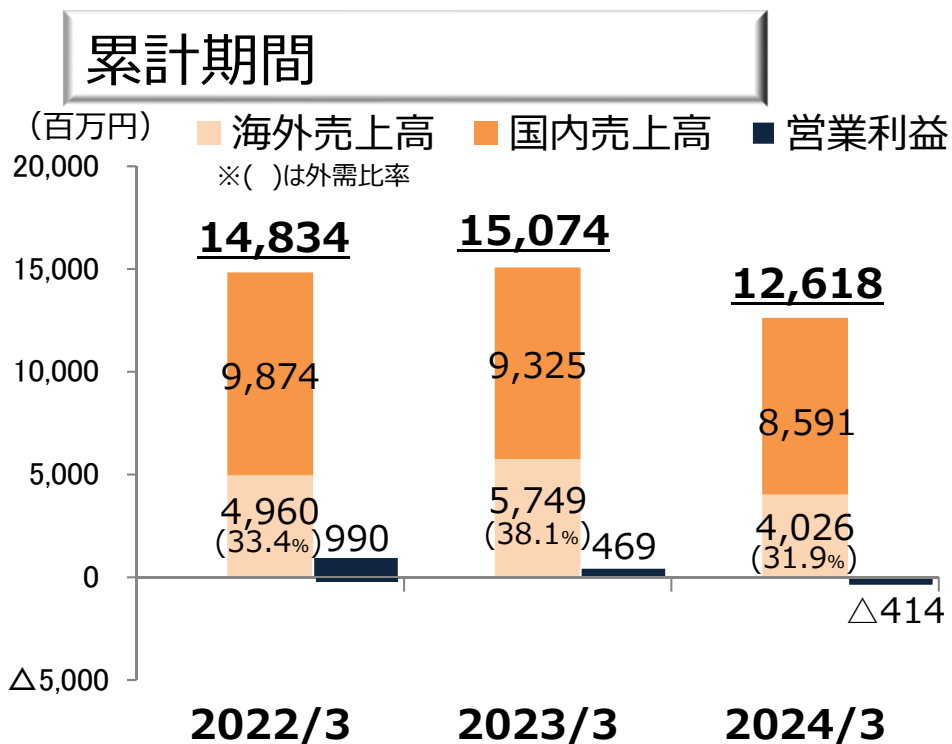
- ✓ 中国において、日系自動車メーカーの販売不振により減少
- ✓ アメリカにおいて、取引先のH E V増産対応により増加

取り組み実績

- ✓ 各国の販売経路の整備、現地ディーラとの協業
→ 新規ディーラの開拓14社
- ✓ W E Bを活用したスピーディな営業活動
- ✓ 遠隔地ユーザに対する展示会等のライブ配信実施

■ 工作機械事業の状況

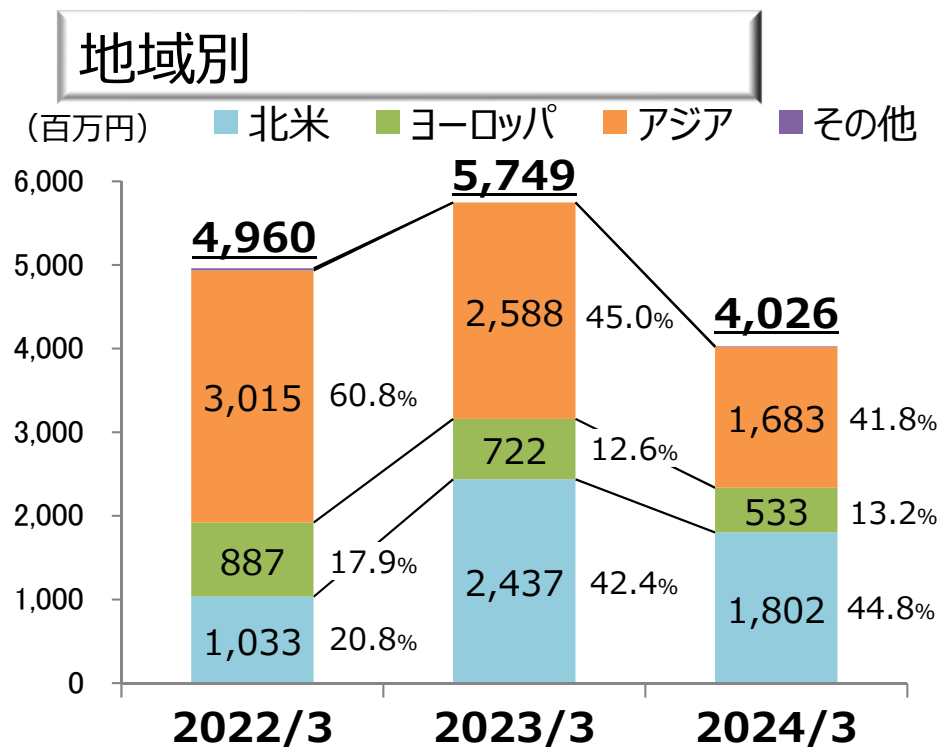
売上高・営業利益の推移



決算のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 受注減少の影響が大きく、売上高は減少 ✓ 売上高減少により、営業利益は赤字を計上 ✓ 3Q売上予定が繰り越したことにより、4Q売上が増加
取り組み実績	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 工作機械事業本部による製販一体となった生産性向上 ✓ お客様ニーズの多様化への最適な対応

■ 工作機械事業の状況

海外売上高の推移



主要な国別

(百万円)

	2022/3	2023/3	2024/3
アメリカ	657 (△24.5%)	2,269 (+245.1%)	1,578 (△30.4%)
タイ	893 (+95.3%)	731 (△18.1%)	775 (+6.0%)
中国	1,247 (+109.6%)	921 (△26.1%)	340 (△63.0%)
ドイツ	339 (+157.9%)	196 (△42.1%)	115 (△41.3%)
ベトナム	411 (+183.5%)	311 (△24.4%)	142 (△54.1%)

※ %表示は対前期増減率

決算のポイント

- ✓ 全体として物価上昇により金利が高止まり、設備投資が停滞
- ✓ 中国は受注同様、景気停滞と日系自動車メーカーの販売不振により減少

取り組み実績

- ✓ 展示会出展やプライベートショー開催により、販売促進
- ✓ 実績・トレンド情報を収集し、新製品開発に反映

2

前期の注目ポイント

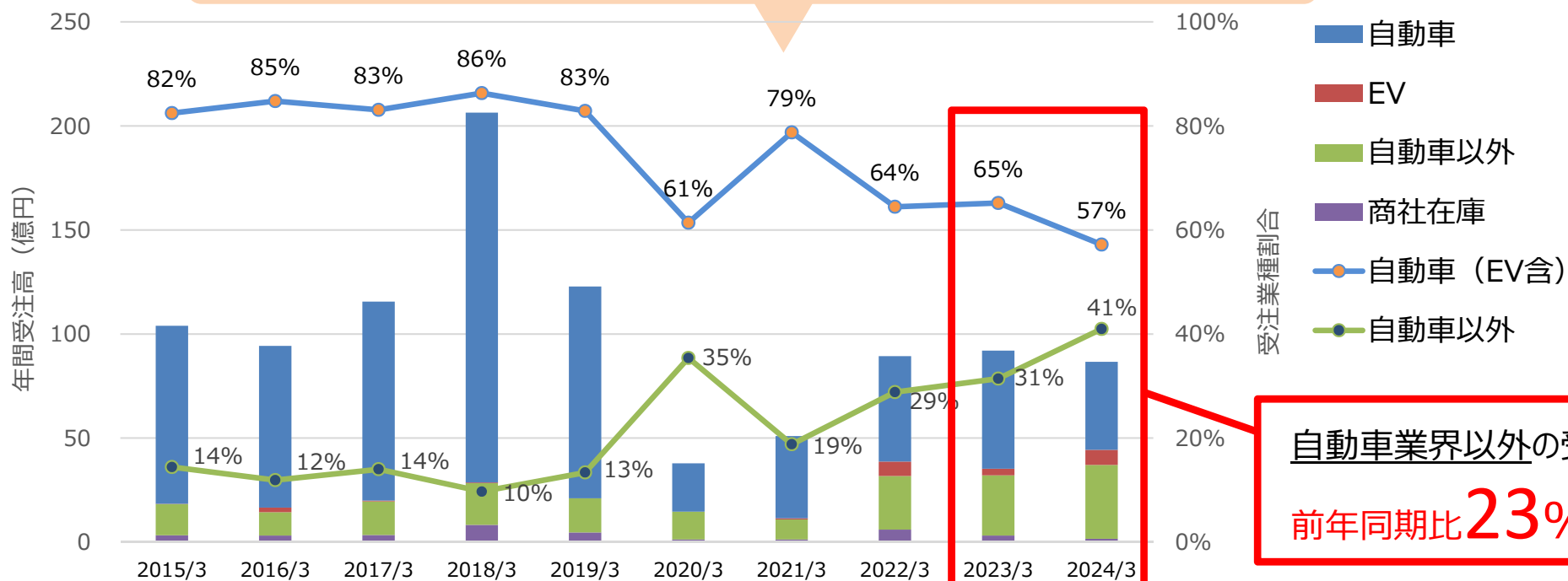
新規受注獲得

自動車業界以外からの新規受注獲得

- 営業キャラバンの実施
- ユーザとの技術交流会の実施
- ディーラ向け勉強会の実施
- カーボンニュートラルに貢献する環境配慮型製品の提案

● 受注高推移（過去10年） ※受注高は、国内向けの旋盤・改造機に限定

自動車業界以外の受注額 10年前比較で約 **2.4倍**



自動車業界以外の受注額
前年同期比 **23%** 増加

生産能力強化

中長期視点からの生産能力強化

- ✓ 精密組立室の拡大移設



人・モノの移動時間

70% 削減

- ・作業効率の向上
- ・レイアウト変更による作業の安全性向上

- ✓ 自動洗浄機導入、自動ランニング装置増設



人が従事する時間

70% 削減

- ・無人運転による省人化
- ・重量物の自動搬送により作業者の負担軽減

- ✓ マシニングセンタの導入



従来設備に対する平均加工時間

15% 削減

- ・安全性、メンテナンス性、省エネルギー性も向上

■ 不採算事業の撤退

採算性の観点から不採算事業の撤退

- ✓ タイで自動車部品加工事業を行う連結子会社
TP MACHINE PARTS CO., LTD.
- ✓ エマグ社製品の輸入、営業支援、及びメンテナンスを行う関係会社
タカマツエマグ

将来の見通しや改善策等を総合的に判断し、今後も事業を軌道に乗せることが困難と判断

グループ収益の改善

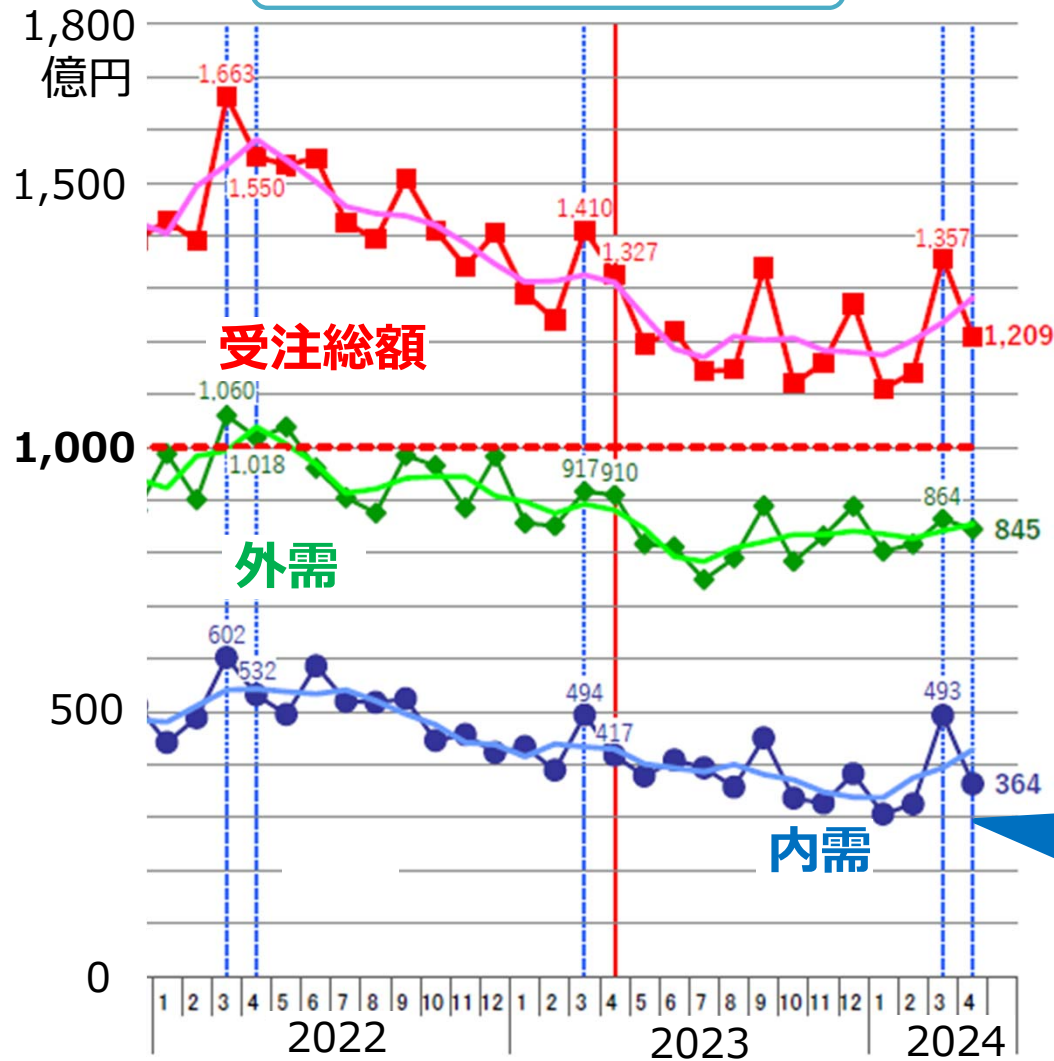
※タイの販売会社TAKAMATSU MACHINERY THAILAND CO., LTD. は、これまで通り事業を継続します。
※タカマツエマグ製品のアフターサービスは、当社が今後も継続して行います。

3 今期見通し

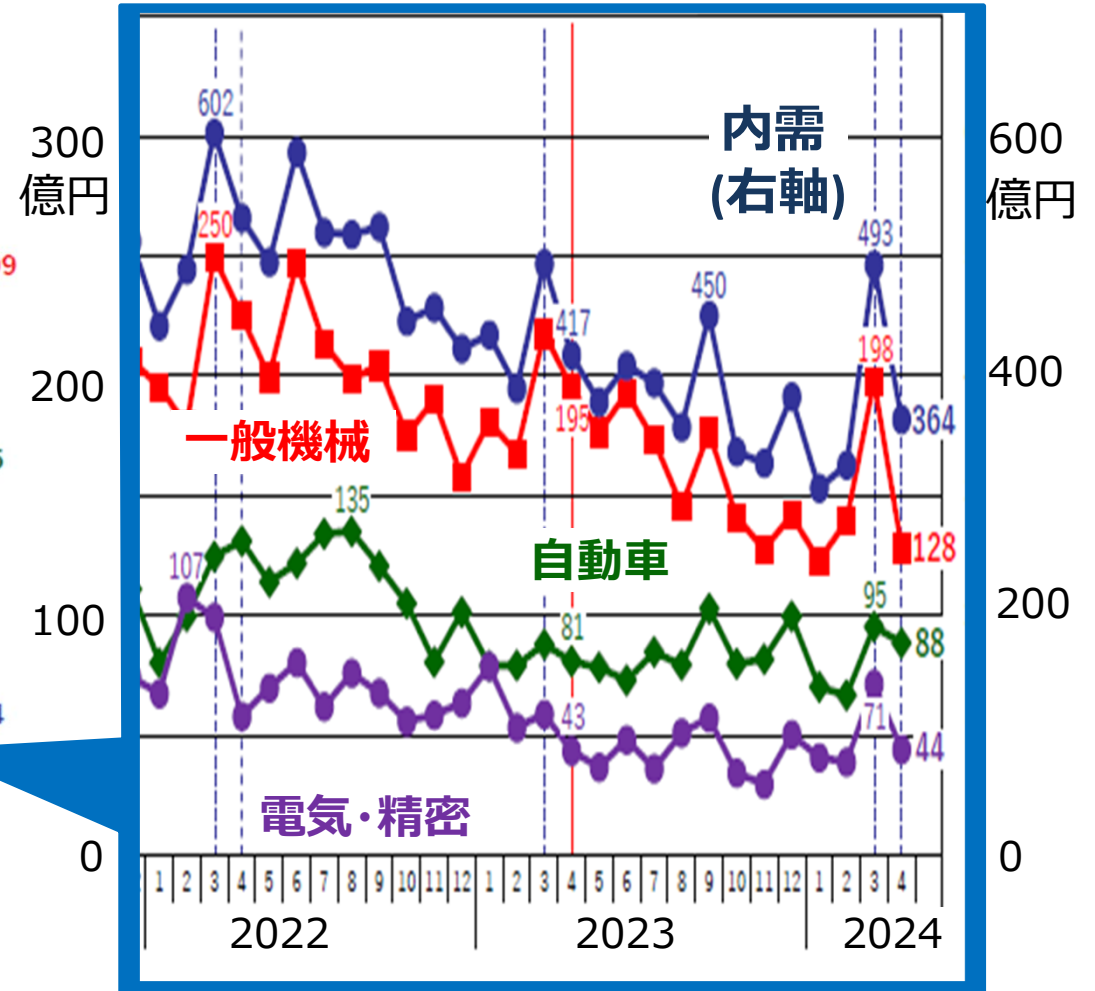
工作機械業界の動向

(出典：日本工作機械工業会)

業界受注額の月別推移



【詳細】
内需の月別推移



- 大手企業を中心に、足元で底入れが進みつつある
- 内需はEVや半導体をはじめ、様々な業種で年後半からの回復を見通す

業績予想

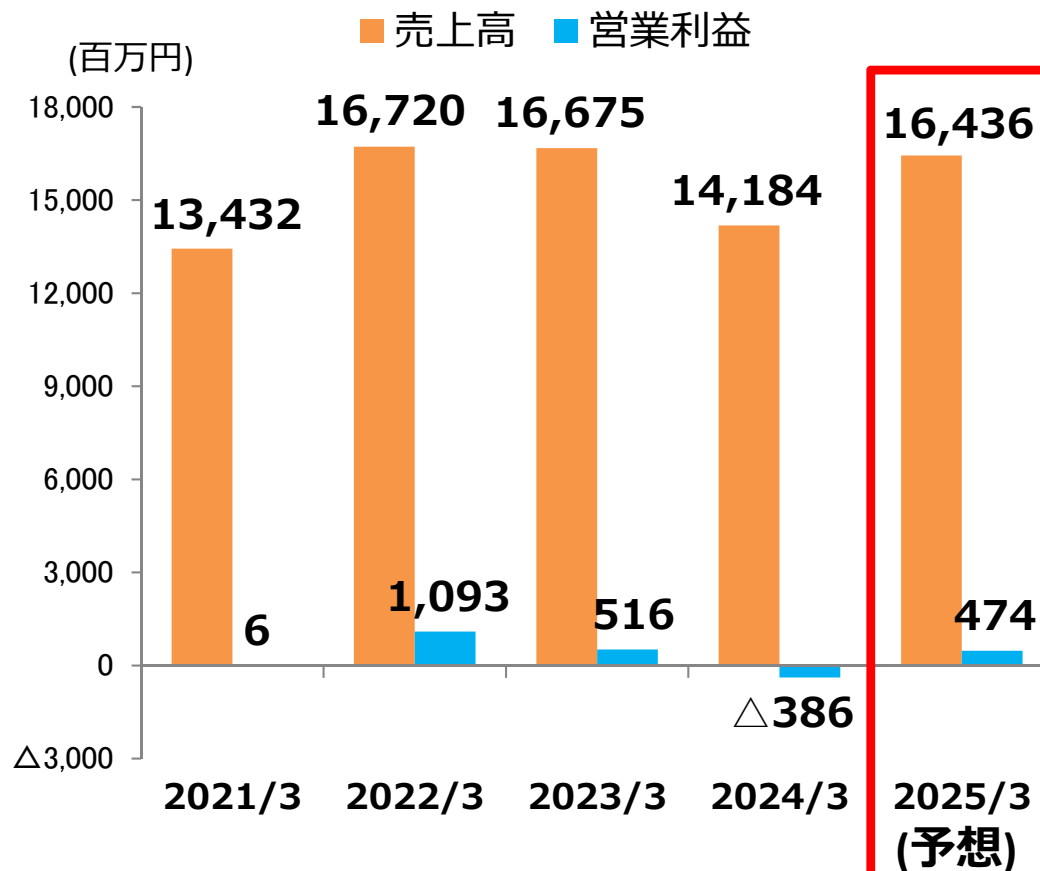
(単位：百万円)

	2023/3 実績	2024/3 実績	2025/3予想	
			見込み	対前期比
受注高	16,069	14,452	17,410	+20.5%
売上高	16,675	14,184	16,436	+15.9%
工作機械事業	15,074	12,618	14,840	+17.6%
I T 関連製造装置事業	1,304	1,283	1,400	+9.0%
自動車部品加工事業	296	282	196	△30.6%
営業利益	516	△386	474	—
営業利益率	3.1%	△2.7%	2.9%	—
経常利益	619	△608	336	—
親会社株主に帰属する当期純利益	489	△565	169	—
1株当たり当期純利益（円）	45.21	△52.26	15.74	—

※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。
 工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

業績予想

売上高・営業利益の推移



収益改善に向けたポイント

- ✓ 生産効率の向上
- ✓ EVとカーボンニュートラルを意識した新製品の投入
- ✓ 新市場開拓の継続
- ✓ 収益分析の強化による営業利益率改善
- ✓ 生産能力のアップ



利益重視の経営を推進し、収益改善に取り組む

4

企業体質の強化に向けて

■ 企業体質強化に向けて

1. EV市場の受注拡大！新製品の投入！！

- 拡大するEV市場を狙う新製品「X T L - 8 / X T L - 8 M Y」

2. 新市場への進出！新製品の投入！！

- リサイクル業界の課題を解決に導く新製品「A I ・ B - s o r t」

3. 未来プロジェクト始動！

- 創業90周年（2038年）に向けてチェンジ！チャレンジ！

4. サステナビリティの実現

- 企業理念「T A K A M A Z は社会に貢献する」の実現

5. 資本コストや株価を意識した経営の実現

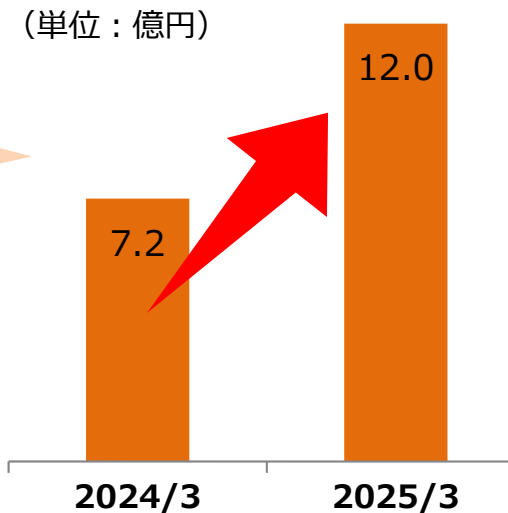
- 企業価値向上に向けての様々な取り組み

1. EV市場の受注拡大！新製品の投入！

需要拡大が見込まれる

EV関連部品（BEV、HEV、FCV含む）向け受注額

約 **70%** 増加を目指す
※国内受注



XTL-8/XTL-8MY

- ✓ EV関連部品に対応できるシャフト加工をターゲットとした製品
- ✓ 作業効率を向上させる各種オプション
- ✓ 省エネ機能によるカーボンニュートラル貢献

2. 新市場への進出！新製品の投入！！

リサイクル業界の課題を解決に導く新製品

資源ごみ A I 自動選別機とは

- ✓ びんの色選別を自動化する機械
- ✓ リサイクル業界の人手不足を解消
- ✓ ビンのリサイクルを推進し、S D G s 達成に貢献
- ✓ 株式会社 P F U と当社の技術を融合

名称決定

- ✓ 「資源ごみ A I 自動選別機」が正式名称【A I ・ B - s o r t 】に決定
- ✓ 2024年4月から正式に販売開始

記者発表会

2024年4月3日開催



市場規模
130億円
※2035年

国内ターゲット
3,000施設以上

環境事業へ
進出！

3. 未来プロジェクト始動！

進むべき2つの明確なゴールを設定
全社一体となって取り組むプロジェクト

【ファースト・ゴール】

社員のやりがい・働きがいアップ

- ① 人件費アップ（平均年収アップ）
- ② 人事評価制度の見直し、等々

3年以内に
目標達成！

相乗効果

相乗効果

【セカンド・ゴール】

筋肉質かつサステナブルな経営基盤の確立

- ① 明確な経営方針の策定（パーパス、ミッションなど）
- ② 新たな経営戦略の策定・推進
 - ・論理的な目標設定による利益の確保
 - ・収益性の低い事業の再構築を検討、等々

■ 3. 未来プロジェクト始動！

★主なプロジェクト内容★

👉収益性アップに向けて

～新たな経営戦略の策定・推進～

a:収益性分析の強化

- ・部門別損益の分析を強化し、経営戦略への活用を目指す

b:既存戦略の見直し

- ・既存の営業・生産・経営戦略をゼロベースで見直す

c:見直しルールに基づく事業再構築

- ・収益性の低い事業の再構築を検討する

d:明確な会社目標設定

- ・ロジックツリー（論理的な目標設定）による営業利益の確保



【中期経営計画2027】へ

4. サステナビリティの実現

カーボンニュートラル実現に向けた取り組みの推進

カーボンニュートラル実現のためのこれまでの取り組み

本社工場

→ 太陽光発電設備導入

- ✓ CO2排出量12%削減
- ✓ 駐車場（カーポート型）と屋根の一部に設置
- ✓ カーポート型PPA（第3者所有モデル）は北陸初



あさひ工場

→ プレクール/プレヒートシステム導入

- ✓ 自然エネルギーを利用した「井水利用外調機」
- ✓ 夏：予冷効果、冬：予熱効果
- ✓ 約350MWh/年の省エネ効果



2024年度の取り組み

→ あさひ工場にも太陽光発電設備導入

- ✓ あさひ工場屋根に設置
- ✓ あさひ工場CO2排出量27%削減（2022年度比）



再生可能エネルギーの
利用拡大！

4. サステナビリティの実現

社員エンゲージメント向上に向けた取り組みの推進

健康経営優良法人2024 (大規模法人部門) 認定

- ✓ 2024年3月初認定
- ✓ 有休取得率の向上
- ✓ 健診結果・生活習慣の改善への取り組み



健康経営優良法人
Health and productivity

金沢城リレーマラソンへの参加

- ✓ 2023年秋 ⇒ 78名参加
2024年春 ⇒ 77名参加
- ✓ 社員コミュニケーションの向上
- ✓ 会社一体感
- ✓ 地域PR強化



タカマツアワード (社内表彰制度) の開催

- ✓ 会社にポジティブな影響をもたらす活動を表彰
- ✓ 社員モチベーションのアップ
- ✓ 社員同士のリスペクト

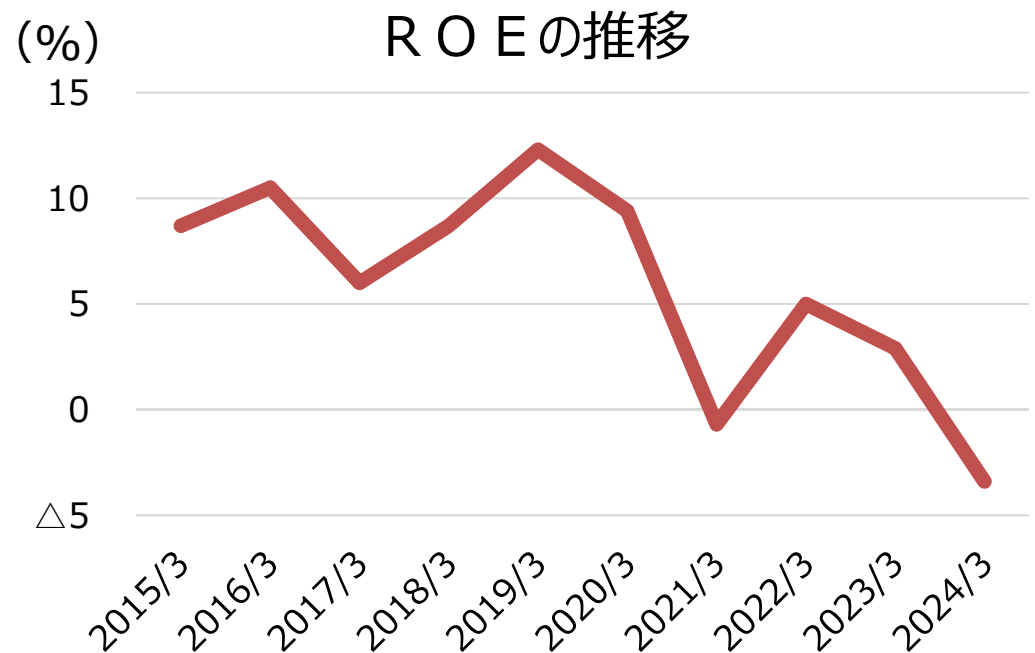
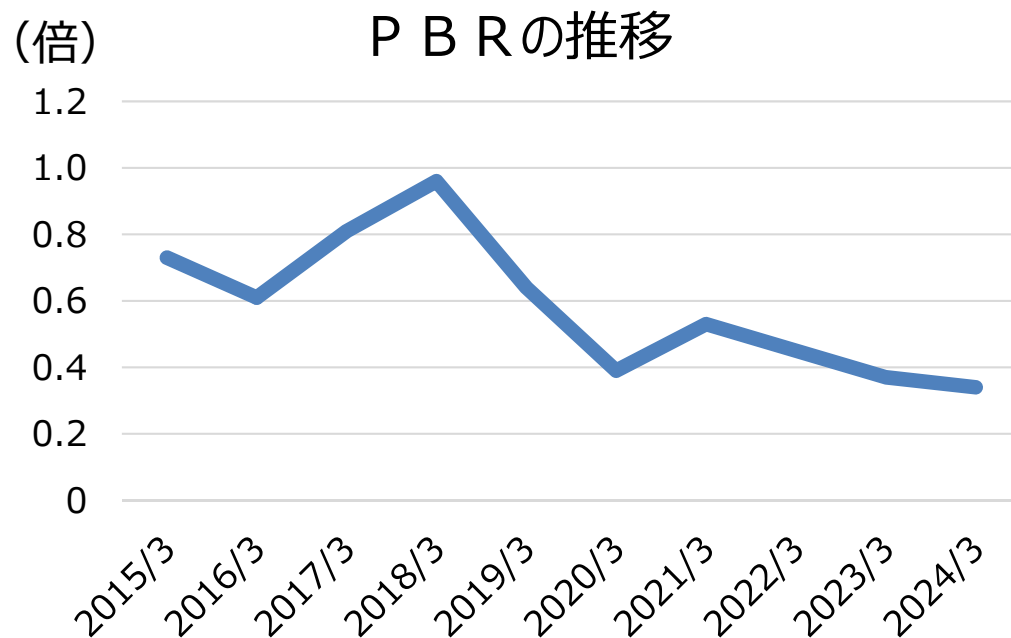


働きやすく、良好な職場環境の実現

5. 資本コストや株価を意識した経営の実現

①現状分析

- P B Rは1倍を下回って推移しており、企業体質強化に向けた取り組みが必要な状況にあると認識している
- 株主資本コストを上回るR O E確保のため、資本収益性向上、認知度の向上、総還元性向の拡大に取り組む



5. 資本コストや株価を意識した経営の実現

②これまでの主な取り組み

A : 資本収益性の向上

投資計画策定	○工作機械生産体制の強化	・精密組立室の拡大移設（2023年度） ・新型マシニングセンタの導入（2024年度）
新規事業推進	○環境事業への進出（2023年度）	【資源ごみAI自動選別機「AI・B-sort」】の販売開始
資本収益性改善	○利益重視の経営戦略の推進 ・部門別 K P I の設定（2024年度）	【未来プロジェクト】による K P I 管理体制の強化
財務の健全性管理	○関係会社（2023年度）	・TP MACHINE PARTS CO., LTD. の解散を決議し、清算手続き中（タイ） ・タカマツエマグの解散を決議し、清算手続き中（日本） ・中国出資会社 2 社の清算決了 ・TAKAMATSU MACHINERY VIETNAM CO., LTD のハノイ支店閉鎖（ベトナム） ・杭州友嘉高松機械有限公司棚卸評価損計上（中国）
	○不採算事業への対応（2023年度）	自動車部品加工事業減損損失計上

5. 資本コストや株価を意識した経営の実現

②これまでの主な取り組み

B：認知度の向上

- 個人投資家向け会社説明会の強化
- 機関投資家向け決算説明会の継続開催
- I R 個別ミーティングの実施
- 株主向け工場見学会の開催

個人投資家向け会社説明会 2023年8月（東京）、9月（金沢）

会社説明会 株式セミナーのご案内

9月6日（水）、高松機械工業株式会社より 高松 宗一郎 氏、株式会社 QUICK より 橋 宏二 氏をお迎えして、会社説明会、株式セミナーを開催いたします。参加費は無料です。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

第1部 高松機械工業株式会社 会社説明会
(主催：高松機械工業株式会社)
証券コード 6155

高松機械工業株式会社 代表取締役社長 **高松 宗一郎** 氏

白山市に本社を置く工作機械メーカー。1961年創業。東証スタンダード。カスタマイズ性に優れた工作機械製品群をもって、ユーザーニーズに合った最適な自動生産ラインを提案する高い技術力に定評。省エネ技術にも優れており、ユーザのカーボンニュートラル実現やSDGs達成に寄与。アメリカ、ドイツ、タイ、中国、インドネシア、ベトナム、メキシコに現地法人を設立しグローバル展開。現社長は2018年4月に就任し、新しい風土づくり、チェンジ・チャレンジを促進。2022年4月にフラッグシップファクトリーとしてあさひ工場を新設稼働し、生産能力を増強。新事業開拓など、更なる成長に向けた取り組みも推進。

2022年度連結売上高 166 億円、連結従業員数 594 名。

第2部 今村証券株式会社 株式セミナー
「23年後半から24年の景気・相場展望と投資戦略」
～急騰の日経平均株価と4万円への道を探る～



株主向けあさひ工場見学会 2023年10月（4開催）



5. 資本コストや株価を意識した経営の実現

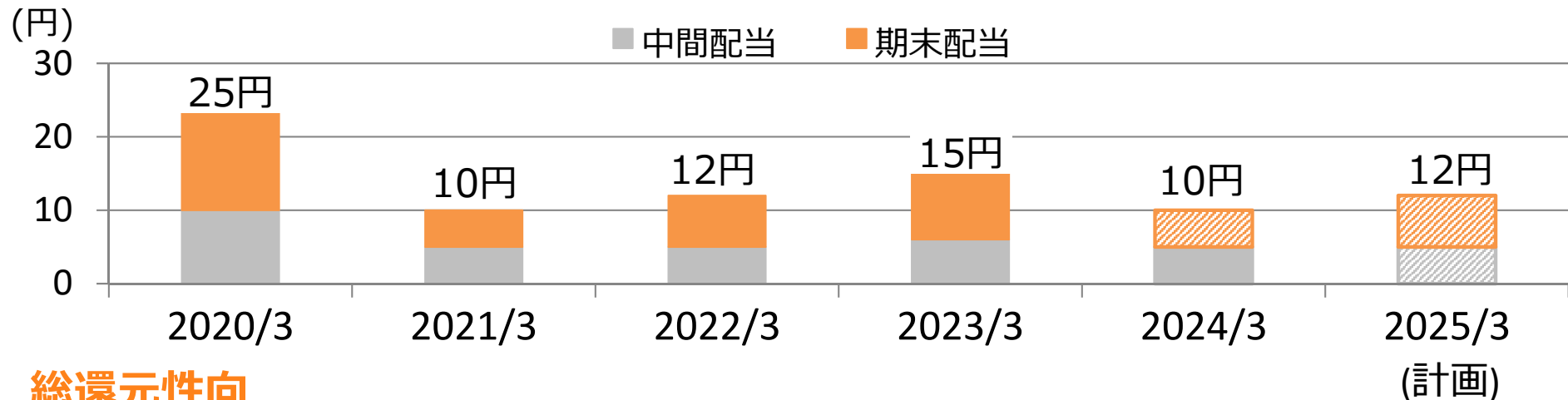
②これまでの主な取り組み

C：総還元性向の拡大

- ◆ 株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な配当水準を維持
- ◆ 将来の利益の成長及び企業価値の向上に資する事業投資に充当するため、必要な内部留保を行う
- ◆ 自己株式取得は、総還元性向等を総合的に勘案した上で実施

※ 2024年3月期 自己株式の取得 99,300株（51百万円）

配当金



総還元性向

年度	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3計画
総還元性向	19.1%	—	24.0%	33.2%	—	76.2%

※ 2021/3及び2024/3においては、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスのため、総還元性向を表示しておりません。

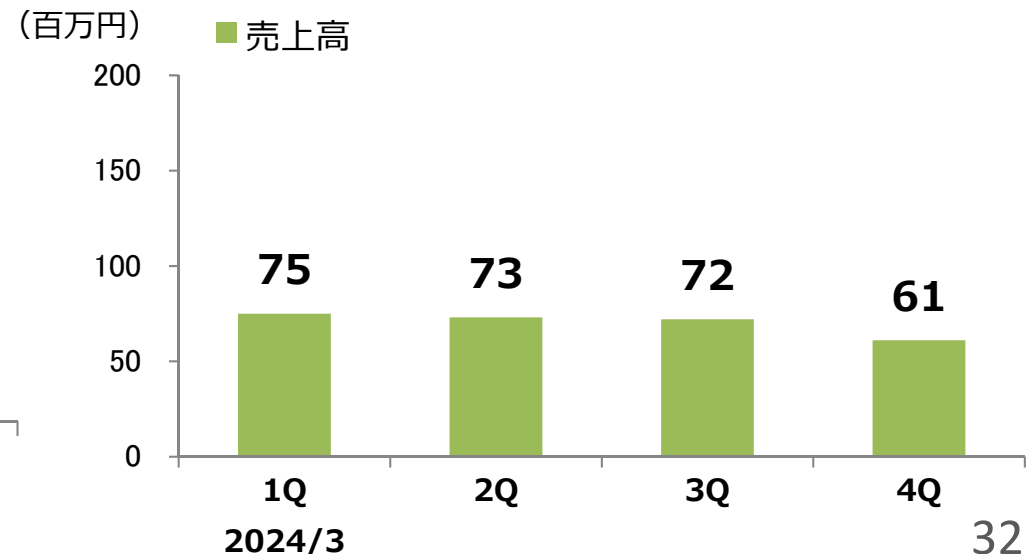
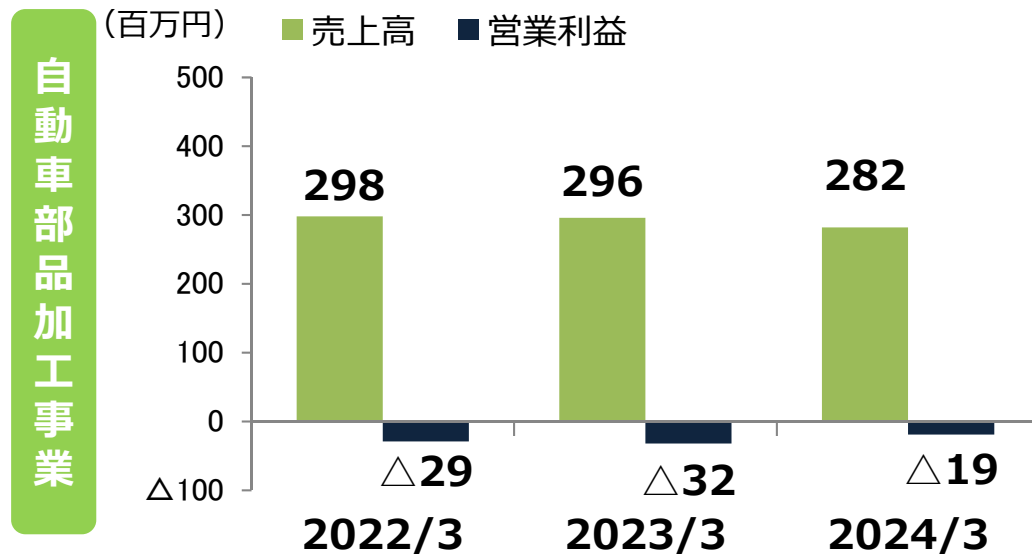
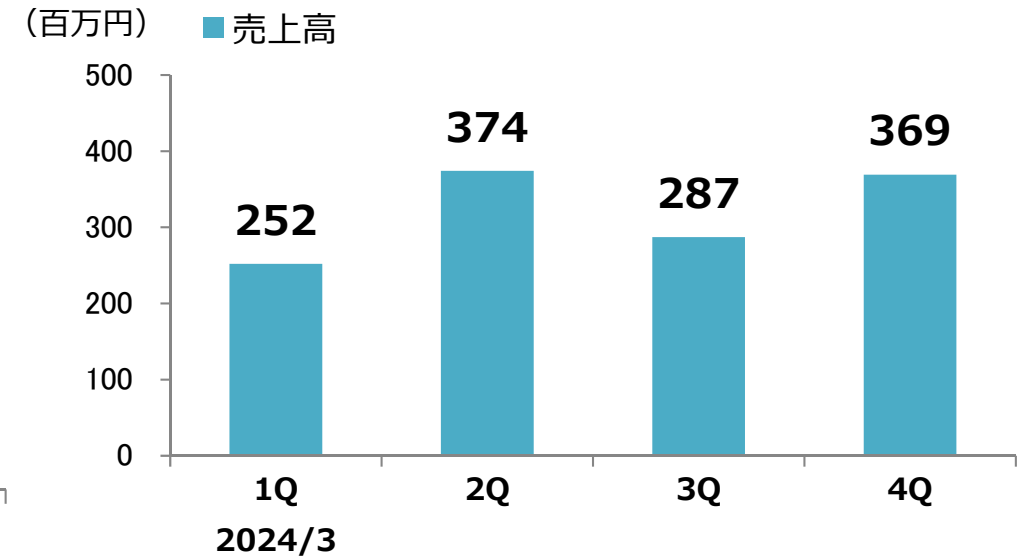
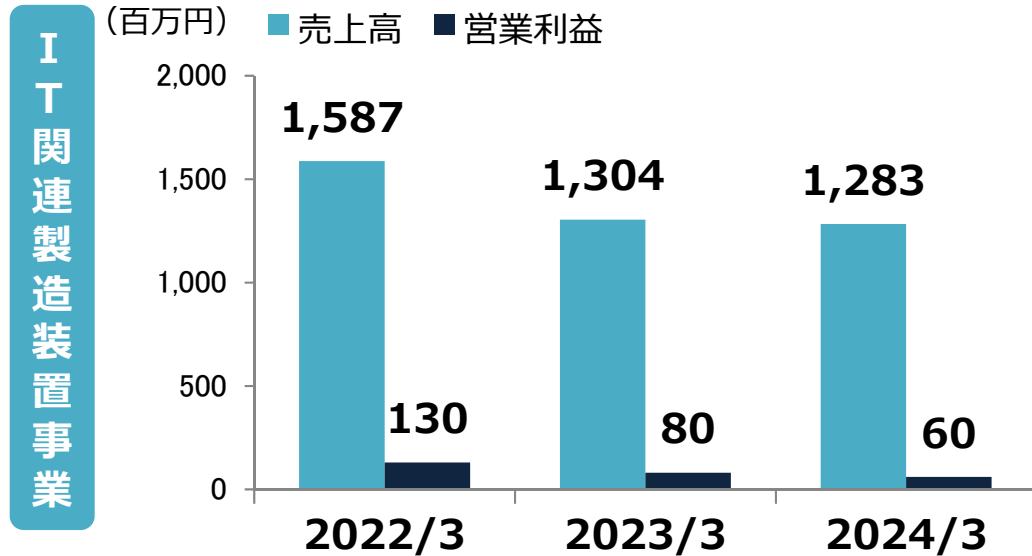
參考資料

I T 関連製造装置事業・自動車部品加工事業の状況

売上高・営業利益の推移

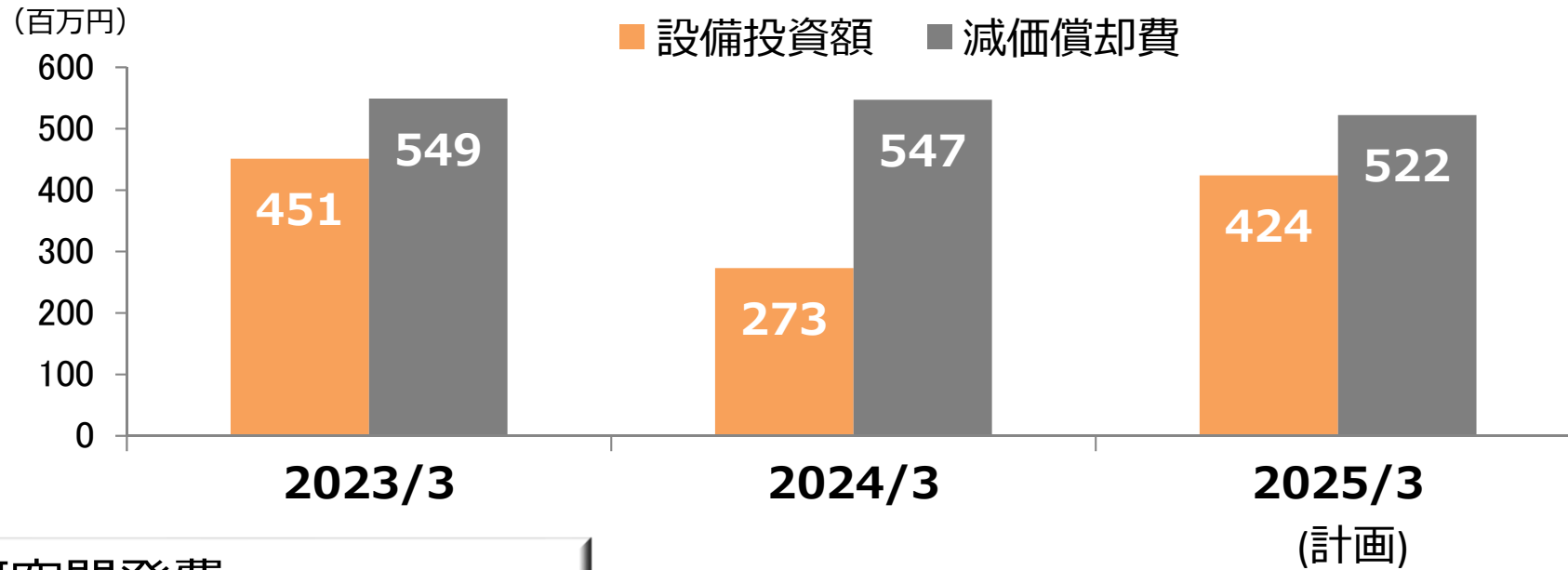
累計期間

四半期会計期間

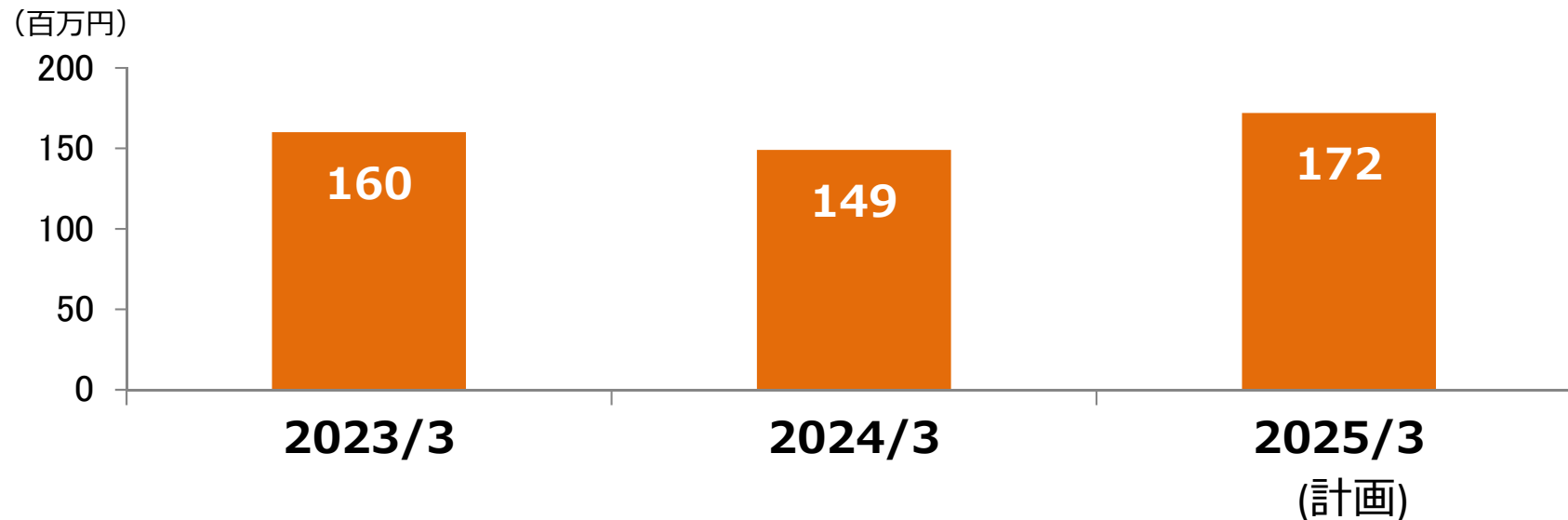


設備投資額・減価償却費・研究開発費

設備投資額・減価償却費

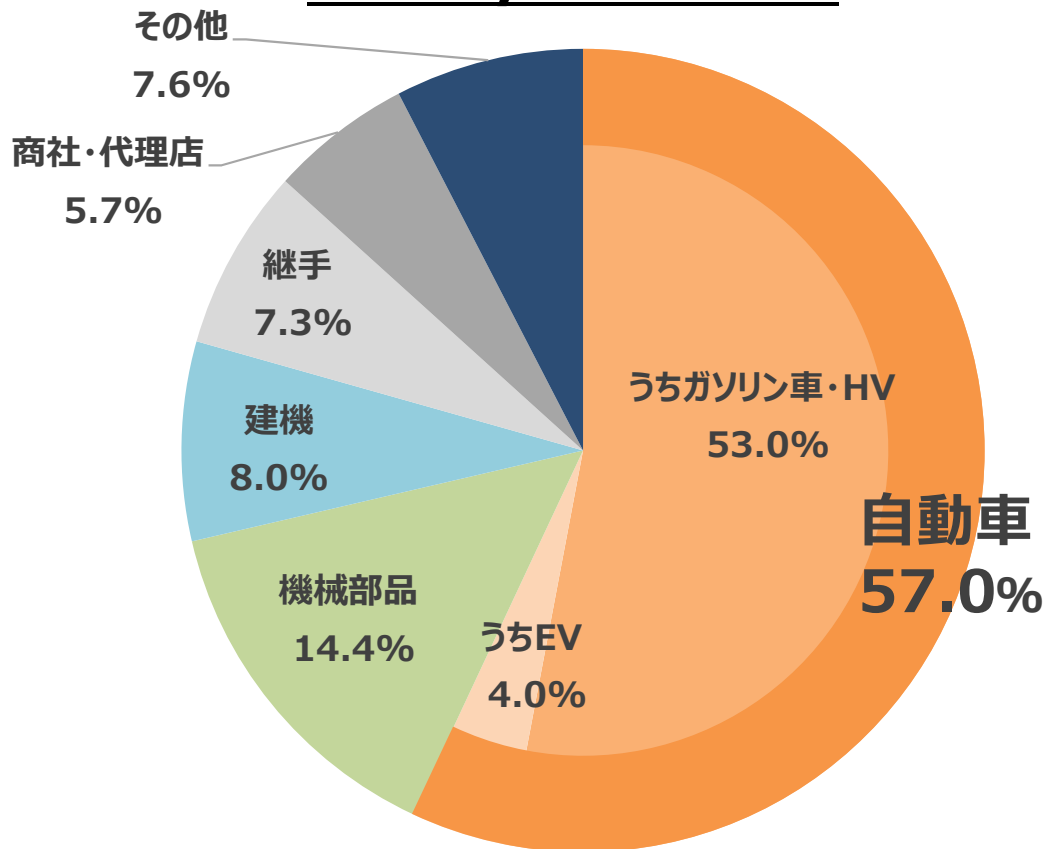


研究開発費



業種別受注先の状況

2024/3 構成比



(注) 受注高は、旋盤・改造機に限定しています。

直近の主な受注先

自動車業界	・ TOYOTA ・ SUBARU	・ HONDA ・ 津田工業	・ DENSO ・ ジェイテクト
自動車業界以外	・ イハラサイエンス	・ SMC	・ クボタ

会社概要



会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
所在地	石川県白山市旭丘1-8
資本金	18億35百万円
発行済株式総数	1,102万株
正社員数	連結：562名 単体：502名（2024年3月末現在）
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード 6155）

事業内容

工作機械事業
(126億18百万円)

事業内容

- CNC旋盤、周辺装置の製造、販売、サービス・メンテナンス



- コレットチャックの製造、販売



生産拠点

本社工場

あさひ工場



他 第2工場、第4工場

I T 関連製造
装置事業
(12億83百万円)

事業内容

液晶基板や半導体などに関係する製造装置の製造

生産拠点

開発センター



自動車部品
加工事業
(2億82百万円)

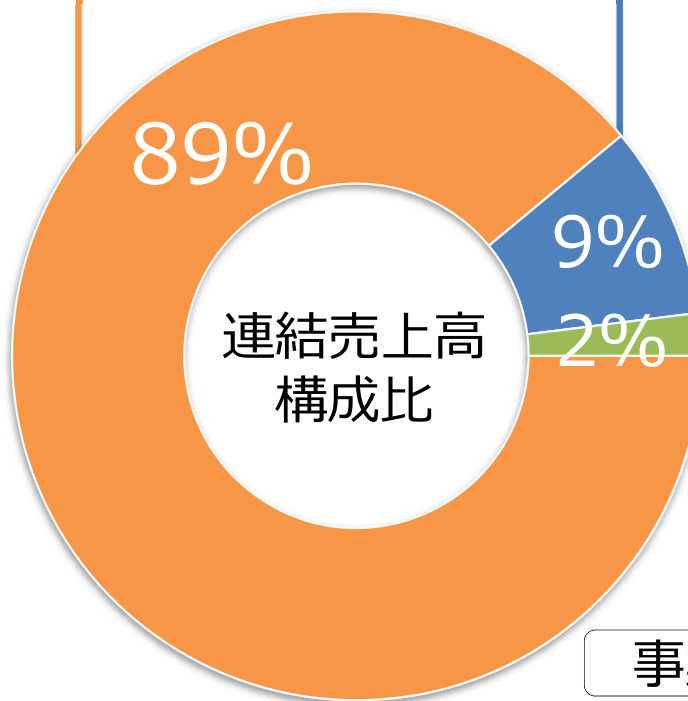
事業内容

自社製旋盤による自動車部品の加工



生産拠点

第3工場



連結売上高
構成比

※売上高及び売上高構成比は2024年3月期の数値です。

■ 営業拠点・グループ会社

国内営業拠点：9か所

関東、大阪、名古屋、
浜松、厚木、東北、
北陸、信越、広島

国内グループ会社：1社

• FTJ

海外グループ会社：8社

- TMU (アメリカ)
- TME (ドイツ)
- TMT (タイ)
- 喜志高松 (中国)
- 友嘉高松 (中国)
- PTTI (インドネシア)
- TMVN (ベトナム)
- TMMX (メキシコ)

国内では、自動車産業が盛んな地域での営業拠点の開設
海外では、ユーザの海外進出に対応すべくグループ会社の設立



迅速かつ適切なサービス・メンテナンスの提供

当社製品による加工例

当社製品による加工例

✓ 高品質が要求される、小さく丸い部品を加工

自動車関係（EV含む）（例）



ギヤ関係部品

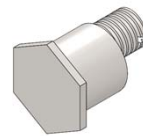


足回り関係部品

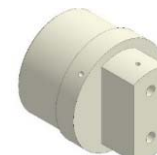


モータ関係部品

その他（例）



エレベータードア部品



照明機器用部品



シャワー用部品

加工した部品の使用例

- 自動車
- 建設機械
- 航空機関連
- バイク
- 建材・設備機器
- 医療機器
- 家電製品

**主力受注先の自動車業界以外の分野の
新規開拓にも注力**



■ 自動化技術

● 豊富なノウハウと製品群

- ・ 早くから自動化技術に取り組み、実績を積み上げ
- ・ 自動化技術を組み合わせ、お客様に最適の生産ラインを提供

● 設計～製造まで一貫した生産体制

自動化装置・システムを自社で開発



多様な製品ラインナップ

ユーザーニーズに応える製品開発

高精度・高品質を維持しつつ生産性の向上を実現

省エネ・省スペース

環境負荷の低減

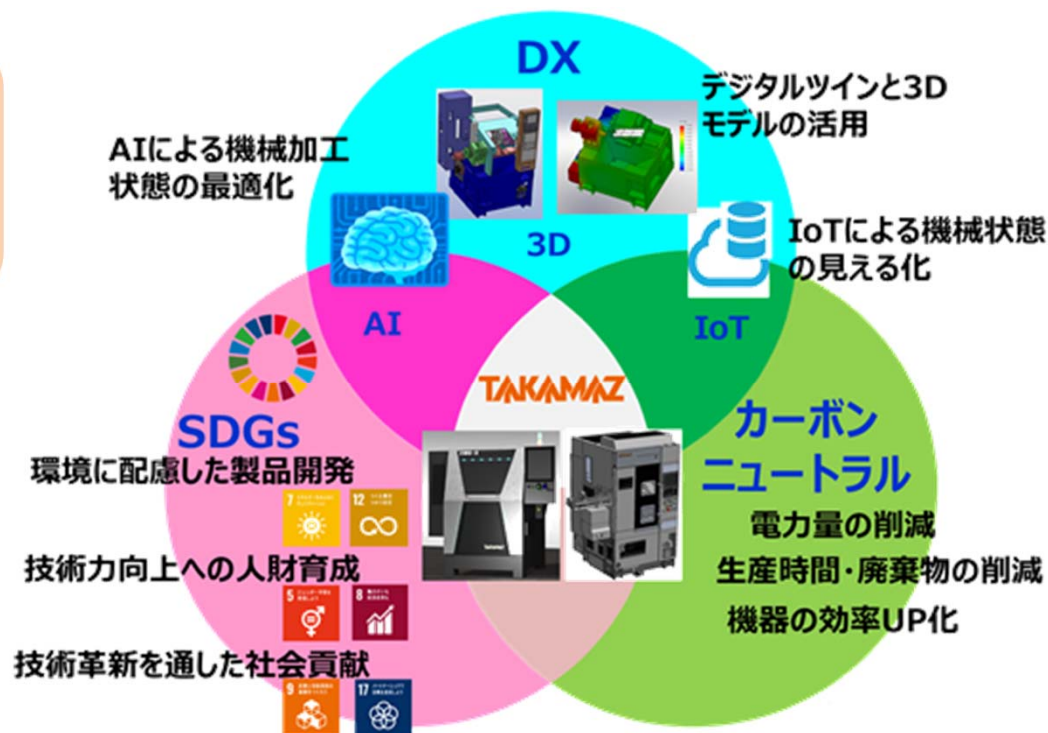
機能を特化した
戦略機種

新製品開発の取り組み

「DX」・「SDGs」・「カーボンニュートラル」の
3つのキーワードで
新製品開発を進めています。



MEX金沢2024で注目の製品を多数展示



投資家・株主の皆様への情報発信

HP

TAKAMAZ

検索



<https://www.takamaz.co.jp/>

● トップページ



● 株主・投資家情報ページ



刊行物



株主通信

決算説明会資料

2024年3月期
決算説明会

2024年6月11日
高松機械工業株式会社(法務コード：6155)
TAKAMAZ

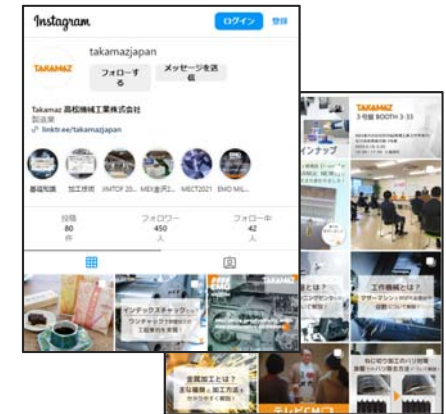


サステナビリティ レポート

ORANGE NEWS



SNS



TAKAMAZ

<https://www.takamaz.co.jp>

